

# 子ども医療費無料化、6年生まで拡大を

山田 達郎 議員



【問】子ども医療費無料化拡大について町民の反応は。

【健康部長】各自治会で開催されたなんでも懇談会において拡大の要望を頂いている。また転入された方からは今後の拡大の予定や要望などが寄せられている。

【問】財政の問題は分かるが待望論がある。今回署名活動をしてたくさん要望があり、周辺市町より遅れているのも事実である。来年度から小学校6年生まで拡大していただきたい。

【町長】山田議員からたくさんさんの署名を頂いた。来年度から小学校6年生まで拡大するようにしたい。

【問】新池のように信号で生徒があふれている所がある。車両同士の事故でも最近は歩道に突っ込むなど悲しい事故が多発している。早急に対策を。【教育部長】必要に応じて交通指導員の配置など安全対策を行っている。

【問】子供の体力向上にコーディネーショントレーニングを取り入れては。

【教育部長】大変効果があると報告がある。授業に取り入れる事が出来ないか各学校と検討したい。

【問】全国の給食に違いがあるが東郷町は大丈夫か。

【教育部長】大丈夫だ。

【問】子供達が自分で弁当を作ることで人間は他の命を頂かないと生きていけないなど家族の絆や子供に失敗をさせて次の成功に向けて必ず必要な事など全国で大反響の弁当の日を取り入れては。

【教育部長】校長会や保護者に意見を聞く。



みんなで落書き消し

\*\*\*\*\*

# 健康づくり施策(体力づくり・健診等)の充実を

井俣 憲治 議員



【問】現在、国民医療費の3割が生活習慣病で、死因別死亡率の6割が生活習慣病が原因だ。病気の予防・早期発見のためにも特定健診の受診増加策を。

【健康部長】本年度より腎機能検査と痛風検査も加え検診内容を充実した。また受診手続きの簡素化、未受診者への勧奨ハガキ案内も出す予定だ。

【問】特定健診の受診料を無料化するのに必要な予算はいくらか。

【健康部長】約80万円。

【問】平成24年までに特定健診受診率が65%を超えない場合、後期高齢者医療支援金が最大10%増額されるという罰則が課せられる。東郷町の場合、どれ位になるか。

【健康部長】最大で約4千万円位と想定される。

【問】4千万円と850万円。町民の病气予

防・早期発見のためにも、町財政のためにも特定健診の受診率を上げる必要がある。受診料を無料化してはどうか。

【健康部長】研究しなければならないと考えている。

※その他、学校給食の充実、アレルギー対応給食、そして子宮頸がんワクチン公費助成の提案と、保育園児を持つ方ガリストラされた場合の東郷町の対応について質問しました。



特定健診チラシ